

令和5年度 学校自己評価表(報告)

学 校 運 営 計 画			
学 校 運 営 方 針	「自主自律」「求真窮理」「協調責任」「誠実感謝」の精神の下、個性豊かな社会人の育成をめざし、全人的教育を推進するため、以下を実現するべく学校を運営する。 (1)主体的に真理を追究し、学び続ける生徒を育てる学校 (2)佐渡から世界へ、世界から佐渡への視点で考え、行動する生徒を育てる学校 (3)他の人を思いやる心の豊かさたくましく生き抜く気力体力を育てる学校 (4)生徒が安心して学び、生活することができる学校		
昨年度(令和4年度)の成果と課題	今年度の重点目標	具体的な目標(能力の育成)	
		具体的な取組(方策は各分掌で設定)	
○ 生徒の進路実現について 令和4年度の進路実績は、大学・短大進学者109名、専門学校31名、就職者9名、その他4名であった。このうち、国公立大学合格者38名で、昨年に引き続き良い結果を残せた。 また、過年度卒で、医学部医学科に1名合格(昨年度に続き2年連続)や、慶応大学等の難関大学に合格するなど、浪人しながら粘り強く努力する生徒が増えている。 コロナ禍3年目にあったが、一人ひとりの生徒が粘り強く挑戦を続けるよう、学年・担任・進路が連携しながら指導し、生徒を育てることができたことが結果につながったと考える。 ○ICT活用と授業改善について 電子黒板での授業は定着している。令和4年度は生徒1台タブレット体制となり、Googleアプリ等を活用したりリモート配信など、ICTの活用により主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善を進めることができた。 ○学校不適応、転学者等について 昨年度の転学者7名、退学者0名であった。(昨年度の転退学者13名) 初期の不適応を防ぐなどの課題を克服するため、特別支援教育推進体制の充実や、スクールカウンセラーの活用等による教育相談の充実と、教員の対応力向上によるところが大きいと考える。	(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けた主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・ 学習習慣の定着 ・ 授業の充実 ・ 各種個別指導の実施	
	(2) 道徳意識の向上 学習活動全域を通じて、規範意識や倫理観の育成に努め、道徳や思いやりある基本的生活姿勢を確立する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・ 個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・ 総合的な探究の時間等におけるキャリア教育充実 ・ 探究活動やサステイナビリティ学の実施	
	(3) 安全・健康理解の深化 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、環境の整備美化に努め、清潔な学園を建設する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・ 挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・ 特別活動や部活動の充実 ・ ボランティアなどの協働活動への参加	
	(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の理解を深め、知識・思考力・国際感覚を高めて、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・ 総合的な探究の時間等における探究活動・職業講話の実施 ・ 生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・ 道徳教育を通じた規範意識の確立	
	今年度(令和5年度)の成果と課題		
○いじめ認知、自殺防止について 昨年度のいじめ認知件数は13件であった。生徒指導において、生徒の規範意識も向上し、大きな問題行動の発生はなかったが、いじめ認知を積極的に行ったこともあり、いじめ認知件数、結果的に認知しなかった件数も増えている。 事案に至る前に、個別面談やアンケートなどで生徒の悩み等をすくい上げ、いじめ見逃しゼロを目指した取組を続けていった成果と考える。 ○地域人材の活用について 佐渡教育コンソーシアムや県の施策である「新潟の未来をSaGaSuプロジェクト」との連携により、地域の外部人材を活用した多様な学びを提供することができた。 今後は、年間計画に位置づけるなど、より組織的・計画的な活動していく必要がある。	【新学習指導要領下の教育過程実施状況】 ①アフターコロナの授業・学校行事 5月8日新型コロナウイルスの5類以降後、授業における声を出して行う活動や体育祭・文化祭等の学校行事の公開実施を再開し、教育活動を平常に戻すことができた。 ②ICT活用と授業改善について 授業や校務において、コロナ禍で蓄えた知見を発展させ、ICTを活用して、授業改善や校務の能率化が進み、教育活動を充実することができた。 ③探究型学習 新潟の未来をSaGaSuプロジェクト連携校の中心校として、探究学習を推進し、2学年生徒全員による課題研究を推進し、2回の発表会を実施した。		総合評価
	【心を育む教育状況～学校不適応・転学者、いじめ防止、自殺防止～】 転学者6名、退学者0名であった。(昨年度の転学者7名、退学者0名) いじめ認知件数7件であった。(昨年度13件) 全教育活動において人権教育、同和教育を基盤とするとともに、SCやSSWを活用しながら、いじめ対策推進教員、特別支援教育コーディネーターを中心に教育相談を情実させた。生徒や保護者へのアンケート複数回実施と合わせ、未然防止、早期発見に努めた。		
	【教職員の働き方改革】 月45時間超過勤務者の割合9.7%であった。(昨年度20.4%) 昨年度と比較して改善したが、担当による業務の偏りや時季による繁忙の偏りが依然として大きいので、引き続き業務の平準化を進める必要がある。		
		A	

【教務部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けた主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	シラバスを作成し、より効果的な授業展開を研究する。	A	A	A
		個々の生徒の力に応じた学力向上のための指導を実施し、一層の学力定着を図る。	A		
		ICTを用いた授業力の向上を目的として、電子黒板等の利用に関する研修会を実施する。	B		
		ICT機材や情報システムを補修・整備し、授業等で活用できる状態を保つ。	B		
(2) 道徳意識の向上 学習活動全域を通じて、規範意識や倫理観の育成に努め、道徳や思いやりある基本的生活姿勢を確立する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサステナビリティ学の実施	生徒の実情を把握するため、個別面談等を実施しやすいような行事・時程等の環境を整える。	B	B	
		総合探究委員会等、各分掌と連携し、限られた条件の中でも生徒の学習や活動がしやすい環境を充実させる。	B		
		各種奨学金等、進路実現のためのサポートを行う。	A		
		生徒の進路実現に資する図書を購入し、また周知する。	A		
		小論文指導に資する図書を整備する。	B		
(3) 安全・健康理解の深化 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐えうる体力を養成するとともに、環境の整備美化に努め、清潔なる学園を建設する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	チャイムにより生徒が整然と行動できる環境を作る。	A	A	
		ボランティア活動の案内を実施し、生徒が積極的に参加できる環境を整える。	B		
		教具・教材等の充実を図り、指導を行いやすい環境を整える。	A		
		学校のWEBページを随時更新し、生徒の活動の様子を校内外に発信する。	B		
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の理解を深め、知識・思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	総合探究委員会等、各分掌と連携し、探究活動や職業講話・道徳教育等の時間を確保する。	A	A	
		生徒会との連携により、各種行事の充実を図る。	A		
		図書館オリエンテーションを実施し、適切な図書館の使い方を指導する。	A		

【生徒指導・保健部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けた主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	朝の校門立哨指導を通年で行い、遅刻の減少、朝学習の心構えを醸成する。	A	A	A
		健康調査・健康診断・健康観察により、生徒情報を把握し、授業に全力で取り組めるよう支援する。	A		
		清掃指導を強化し、好ましい学習環境をつくる。	A		
(2) 道徳意識の向上 学習活動全域を通じて、規範意識や倫理観の育成に努め、道徳や思いやりある基本的生活姿勢を確立する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサステナビリティ学の実施	いじめアンケートを実施し、問題の早期発見・早期解決を図る。	A	A	
		個別支援シートを活用し、問題を抱えた生徒の情報共有、対応を図る。	A		
(3) 安全・健康理解の深化 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、環境の整備美化に努め、清潔なる学園を建設する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	年3回の頭髪服装検査を行い、全員合格を目指す。	A	A	
		長期休業前に注意喚起を行い、問題行動を未然に防ぐ。	A		
		保健指導を行い、健康管理を積極的に行う意識を啓発する。	A		
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の理解を深め、知識・思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	生活委員・保健委員を指揮し、活動の活性化を図る。	A	A	
		SNS授業を実施し、トラブルの減少を目指す。	A		
		交通講話を実施し、事故防止と交通マナーの遵守を図る。	A		

【進路指導部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けた主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	放課後補習や長期休業中の補習を実施する。	A	A	A
		進学・就職の小論文・作文・面接指導を実施する。	A		
		大学教授・予備校講師による進路講演会を実施する。	A		
(2) 道徳意識の向上 学習活動全域を通じて、規範意識や倫理観の育成に努め、道徳や思いやりある基本的生活姿勢を確立する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活用やサステイナビリティ学の実施	学年会や職員会議で進路シラバスを確認し、共通理解を図る。	A	A	
		進路希望状況調査を実施し、生徒の進路希望を把握する。	A		
		全国模試などの分析を行い、各学年生徒の現状理解を図る。	A		
(3) 安全・健康理解の深化 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、環境の整備美化に努め、清潔なる学園を建設する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	進学・就職の面接指導を実施する。	A	A	
		大学講義体験などを実施する。	A		
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の理解を深め、知識・思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	適性検査などを用いて自己理解を図る。	A	A	
		大学講義体験などを実施する。	A		

【特活部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けた主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	自ら目標を立て、それに向かい協働する力を育てる。	A	A	A
		各部活動や大会参加を通じて、技能及び精神力の向上と努力することの大切さを学ばせる。	A		
(2) 道徳意識の向上 学習活動全域を通じて、規範意識や倫理観の育成に努め、道徳や思いやりある基本的生活姿勢を確立	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育充実 ・探究活動やサステイナビリティ学の実施	生徒会諸行事に主体的に取り組むことを通じて、自発性・協働性・責任感などを身に付けさせる。	A	A	
(3) 安全・健康理解の深化 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、環境の整備美化に努め、清潔なる学園を建設する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	生徒会諸行事の企画・運営を通じコミュニケーション能力を高める。	A	A	
		学校としての一体感や情報の共有を図る。	A		
		週1回の執行部会開催を定着させ、生徒会活動への参画を促す。	A		
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の理解を深め、知識・思考力・国際感覚を高め、グ	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	HR活動を通じ他者と関わる中で、自己を見つめ自己の役割を果たしつつ他者理解に繋げる。	A	A	

【渉外部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価	
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けた主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	PTA会報や同窓会会報、会合を通して、学校行事の様子や部活動の成績を保護者や同窓生に周知する。	A	A
(2) 道徳意識の向上 学習活動全域を通じて、規範意識や倫理観の育成に努め、道徳や思いやりある基本的生活姿勢を確立する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサステイナビリティ学の実施	PTA会報や同窓会会報、会合を通して、佐渡高校独自の教育活動を周知する。	A	
(3) 安全・健康理解の深化 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、環境の整備美化に努め、清潔なる学園を建設する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	会報や会合を通して、佐渡高校生が基本的生活習慣をきちんと身につけていることを周知する。	A	
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の理解を深め、知識・思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	総合学習やサステイナビリティの活動に、佐渡高校の生徒が積極的に参加し、佐渡の将来について深く考えていることを会報や会合などを通じて周知する。	A	

【1学年】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けた主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	ICTを活用し、理解しやすい授業を行う。	A	A	A
		進学希望者向けと不振者向けの補習を実施する。	A		
		学校行事に積極的に参加し、充実した学校生活を送る。	A		
(2) 道徳意識の向上 学習活動全域を通じて、規範意識や倫理観の育成に努め、道徳や思いやりある基本的生活姿勢を確立する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサステナビリティ学の実施	進路指導シラバスに沿って学年運営を行う。	A	A	
		放課後等の時間を利用し、学期に1度以上の面談を行う。	A		
		適性検査などで自己理解を深め、職業講話などを通じて多様な職業を知る。	A		
(3) 安全・健康理解の深化 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、環境の整備美化に努め、清潔なる学園を建設する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	挨拶を大切にし、人と関わる機会をもたせる。	A	A	
		学年集会、LHR等で基本的生活習慣や規範意識について指導する。	A		
		ボランティア活動をホームルーム等で周知し、積極的活動参加を促す。	A		
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の理解を深め、知識・思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	グループで「自分の将来を考える」探究活動を行う。	A	A	
		学年集会、LHR等でルール・マナーを遵守することの大切さを理解させる。	A		
		学習と部活動での成長効果を理解させ、積極的に取り組むような指導を徹底して行う。	A		

【2学年】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けた主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	課題や小テストを計画的に実施する。	A	A	A
		ICTを活用して、理解しやすい授業を行う。	A		
		各種補習を計画し実施する。	A		
(2) 道徳意識の向上 学習活動全域を通じて、規範意識や倫理観の育成に努め、道徳や思いやりある基本的生活姿勢を確立する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサステナビリティ学の実施	計画的に個別面談や進路指導を行う。	A	A	
		各種講演会や進路探究を通じて、自分の進路について考える。	A		
		セルフチャレンジプランを通じて社会貢献の意識を高める。	B		
(3) 安全・健康理解の深化 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、環境の整備美化に努め、清潔なる学園を建設する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	挨拶を励行し、円滑な人間関係形成の意識を高める。	A	A	
		行事や部活動を通してコミュニケーション能力やリーダーシップを養う。	A		
		社会活動への参加を促し、仲間と協働して活動する機会を持たせる。	A		
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の理解を深め、知識・思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	セルフチャレンジプランを通して、地域理解・国際理解・自己理解を深める。	A	A	
		行事や部活動を通じて、他者の意見を客観的に聞く姿勢を養う。	A		
		修学旅行事前の平和学習や修学旅行、人権教育、SNS教育等を通じて、社会的・個人的な規範意識を高める。	A		

【3学年】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けた主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	モバイルサテラインの斡旋・計画を行い、学習をサポートする。	A	A	A
		放課後補習や添削を実施する。	A		
		集中学習を実施する。	A		
(2) 道徳意識の向上 学習活動全域を通じて、規範意識や倫理観の育成に努め、道徳や思いやりある基本的生活姿勢を確立する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサステナビリティ学の実施	進路指導シラバスに沿って学年運営を行う。	A	A	
		必要に応じて個別面談や進路面談を行う。	A		
		進路講演会の実施により、自分の進路について考える。	A		
(3) 安全・健康理解の深化 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、環境の整備美化に努め、清潔なる学園を建設する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	挨拶を大切にし、よりよい人間関係の構築に努めさせる。	A	A	
		行事や部活動で学校をリードするとともに、リーダーとしての意識を持たせる。	A		
		学級活動への参加を促して、仲間と協力して活動を行う。	A		
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の理解を深め、知識・思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	総合的な探究の時間の活動などを通じ、自己理解を深める。	A	A	
		生徒会活動や部活動を通して他人を思いやる心を育てる。	A		
		朝読書・朝学習を実施して、静かに学習する雰囲気をつくる。	A		

【国語】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けた主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	授業内容に応じた週末課題、月課題を課す	A	A	A
		ICTを適切に活用し、授業の充実を図る	A		
		継続的に漢字・古典小テストを実施する	A		
(2) 道徳意識の向上 学習活動全域を通じて、規範意識や倫理観の育成に努め、道徳や思いやりある基本的生活姿勢を確立する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活用やサステナビリティ学の実施	漢字検定を年2回実施する	A	A	
		放課後や長期休業中の補習などを実施する	A		
		進路希望先に応じた個別指導を行う	A		
(3) 安全・健康理解の深化 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、環境の整備美化に努め、清潔なる学園を建設する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	授業に協働的な活動を取り入れる	A	A	
		意見を述べたり、交換したりする場を設ける	A		
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の理解を深め、知識・思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	考査、模試等の振り返りを行い、自己の課題に向き合わせる	A	A	
		週末課題、月課題の提出期限を守らせる	A		

【地理歴史・公民科】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けた主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	要点整理ノート等を活用して基礎的学習事項の定着を図る。	A	A	A
		ICTを取り入れ、生徒の主体的な学習姿勢の形成を促す。	A		
		生徒の理解度を把握し、勉強の仕方を含めてアドバイスをするなど、個々に応じた適切な学習指導を行う。	A		
(2) 道徳意識の向上 学習活動全域を通じて、規範意識や倫理観の育成に努め、道徳や思いやりある基本的生活姿勢を確立する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサステナビリティ学の実施	模擬試験の事前・事後指導を通じて教科指導の側面から進路実現の意欲を高める。	A	A	
		補習や個別指導を行い、授業での学習指導を補填する。	A		
(3) 安全・健康理解の深化 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、環境の整備美化に努め、清潔なる学園を建設する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	授業で班活動や発表を取り入れ、社会参画やコミュニケーション能力の育成を図る。	A	A	
		授業と授業外の時間のけじめをつけさせ、授業中は授業に集中させる。	B		
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の理解を深め、知識・思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	ニュースや社会事象を取り上げ、自分たちが生きている社会そのものに関心を持たせるとともに、学習事項とのつながりを考察させる。	A	A	
		家庭学習も含めて継続的・計画的な学習態度の形成を促す。	B		

【数学科】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けた主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	家庭学習を促すために課題を適切に課す。	A	A	A
		ICTを活用し、効率よく丁寧に指導する。	A		
		大学進学希望者を対象に添削課題等の個別指導を実施する。	A		
(2) 道徳意識の向上 学習活動全域を通じて、規範意識や倫理観の育成に努め、道徳や思いやりある基本的生活姿勢を確立する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサステナビリティ学の実施	既習事項の定着を図るために模試対策、模試の復習を行う。	A	A	
		模試の結果を分析し、苦手分野の克服を促す。	A		
(3) 安全・健康理解の深化 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、環境の整備美化に努め、清潔なる学園を建設する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加				
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の理解を深め、知識・思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立				

【理科】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けた主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	適宜、小テストを実施したり、課題を与え、家庭学習を促す。	A	A	A
		ICTや授業プリントを活用し、効率よく丁寧に指導する。	A		
(2) 道徳意識の向上 学習活動全域を通じて、規範意識や倫理観の育成に努め、道徳や思いやりある基本的生活姿勢を確立する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサステナビリティ学の実施	3年間を見通し、個々の進路に応じた適切な指導を行う。	B	A	
		自然科学と社会の関わりを意識させる。	A		
(3) 安全・健康理解の深化 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、環境の整備美化に努め、清潔なる学園を建設する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	発問し、発言する力や考察力、人の意見を聞く力を養成する。	A	A	
		授業の最初と最後に挨拶をする。	A		
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の理解を深め、知識・思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	授業を聞く態度や、学習中の人へ配慮する心を育てる。	A	A	
		互いに学び合い、様々な考え方を尊重しあう心を育てる。	B		

【保健体育科】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けた主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	・全学年毎時間、基礎体力の向上を図る。	A	A	A
		・1学年は中学からの更なる成長(筋力・体力)を図る指導と精神的向上を図らせる。	A		
		・2・3年生は選択制を用い、自ら学び積極的に行動・運動させる。	A		
		・教諭の専門性を生かしつつ、より高度な技術習得をさせる。	A		
(2) 道徳意識の向上 学習活動全域を通じて、規範意識や倫理観の育成に努め、道徳や思いやりある基本的生活姿勢を確立する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサステイナビリティ学の実施	・体育授業中の生徒情報を担任等と連携を図る。	A	A	
		・グループ活動を充実させ集団から学ぶ姿勢を育成する。	A		
(3) 安全・健康理解の深化 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、環境の整備美化に努め、清潔なる学園を建設する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	・挨拶・声を出すことの意識を説き徹底指導を行う。	A	A	
		・集団行動を通して規範意識を高める。	A		
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の理解を深め、知識・思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	・安全・マナーへの配慮はもちろんのこと、段階に応じてアップやトレーニングを用い、活発に行動するよう促す配慮を行う。	A	A	
		・学校行事・部活動への積極的参加を促す。	A		

【芸術科】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けた主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	芸術活動に関する基本的な知識・技能を定着させる。	A	A	A
		芸術科の各専門性を生かし、より高度な技術を習得させる。	A		
		学校行事・部活動への積極的な参加を促す。	A		
(2) 道徳意識の向上 学習活動全域を通じて、規範意識や倫理観の育成に努め、道徳や思いやりある基本的生活姿勢を確立する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサステナビリティ学の実施	基礎から応用へと、思考力や創造性を養う。	A	A	
		進路相談に応じ、個別指導を実施。	A		
(3) 安全・健康理解の深化 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、環境の整備美化に努め、清潔なる学園を建設する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	学習活動を通じ生徒相互が交流し豊かな体験をさせる。	A	A	
		地域行事への積極的な参加を促す。(作品展等を含む)	B		
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の理解を深め、知識・思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	道具・楽器等の扱い方や、準備・片付けを徹底させる。	A	A	
		適切な態度で授業を受けるよう指導する。	A		

【英語科】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1) 基礎学力の充実 授業改善に努めるとともに、教育相談等を通じて、高い志を持たせ、夢の実現に向けた主体的に学習する習慣を整える。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	授業準備を明確に示し、授業開始に備えさせる。	A	A	A
		小テストや課題を定期的に課し、学習習慣を定着させる。	A		
		共通テストに対応した指導を適切に行う。	A		
(2) 道徳意識の向上 学習活動全域を通じて、規範意識や倫理観の育成に努め、道徳や思いやりある基本的生活姿勢を確立する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサステナビリティ学の実施	スタディサポートや模試の結果を分析し、指導に反映させる。	A	A	
		外部試験に関する情報提供と個別指導を適切に行う。	A		
(3) 安全・健康理解の深化 自己の健康を管理する能力を増進し、困難に耐える体力を養成するとともに、環境の整備美化に努め、清潔なる学園を建設する。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	ペア・グループなどの学習活動に取り組ませる。	A	A	
		パフォーマンステストを実施する。	A		
(4) アイデンティティ育成とキャリア形成 郷土の歴史・文化・自然等の理解を深め、知識・思考力・国際感覚を高め、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	スピーチコンテストやプレゼンテーションなどの情報提供と個別指導を適切に行う。	B	A	
		教材で取り扱う題材やトピックを工夫し、思考力を深める活動を行う。	A		